

令和7年6月 第29回入善町議会定例会

代表・一般質問要旨（発言順）

令和7年6月3日（火）議運決定

〔質問日 6月11日（水）〕

■代表質問

発言順	質問議員 (会派名)	質問事項	答弁者
1	池原 純一 (アクト)	（１）米の生産・流通を取り巻く現状と町の農業施策について ① 今回の「令和の米騒動」は、今後の農政を考える上で新たな課題を浮き彫りにした。米価の高騰はなぜ起きたのか。政府は備蓄米の緊急放出で米不足の解消と米価安定を図っているが、食料備蓄は何のために行われてきたのか。今、わが国の米の生産・流通の在り方が問われており、米騒動が二度と起こさないための新たな制度設計が必要だと思われる。農業を基幹産業とする入善町として、今後の農政はどうあるべきと考えているのか。また、町の農業をどのように守り、支援して行く考えか。町の見解を問う。	①町長
		（２）介護事業の現状と対策について ① 介護現場では、人材確保が深刻な課題となっており、また、他業種と比較して労働条件や待遇が厳しいために離職率の高さが問題視されている。町は介護職員の定着を促進するため、早くから就労支援金制度や資格取得支援など、人材の育成に取り組んできたが、更なる支援策の拡充や職場環境の改善が必要だと考える。町はどのような支援策を検討しているのか。 ② 近年の急速な物価高は、介護施設の運営に深刻な影響を及ぼしており、特に小規模施設では経営が行き詰まって閉鎖する事例も多い。介護施設の存続は社会のインフラ維持に直結し、高齢者福祉の推進には欠かせない。町は支援の拡充など、新たな支援策を検討しているのか。 ③ 入善町は、フレイル予防事業で高齢者の健康維持と要介護状態への進行防止に取り組み、また、運動・栄養改善・社会参加促進で健康寿命の延伸を目指している。更なる町民参加を促すには、事業主体との連携による効果的な施策の展開が重要である。町はより多くの高齢者が積極的に参加できる環境を整えるために、どのような施策を検討しているのか。	①②保険福祉課長 ③元気わくわく健康課長

発言順	質問議員 (会派名)	質問事項	答弁者
1	池原 純一 (アクト)	(3) 下水道事業について ① 浄化センター内の風力発電施設は再生可能エネルギー活用模範的な事業で、町の先進的な取り組みとして高く評価する。供用開始から17年が経過しているが、施設の現状と今後の維持管理について町の考えを示せ。 ② 風力発電の余剰電力は再生可能エネルギー固定価格買取制度を活用して有利な価格で売電してきたが、間もなくその制度の利用期間が終了し、売電価格が大幅に下がると聞いている。その影響で下水道事業の運営に大きな支障をもたらすことを危惧しているが、それに対する町の考えを示せ。 ③ 町内には官民で4基の風車があるが、新たな町の顔として、また下水道事業の新たな財源として、風車増設にチャレンジする考えはあるか。 ④ ディスポーザー排水処理は町民の利便性向上に大きく寄与する取り組みである。既に導入済みの自治体ではゴミの減量化や環境負荷軽減の効果が報告されている。本町では導入が困難とされているが課題は何か。また設備更新や処理能力の向上により、導入の可能性を検討する考えはあるか。 ⑤ 入善町は、ほぼ全域が扇状地で散居が多いという特性から、下水道整備では巨額の管渠整備費を要した。今後の管渠の更新においても巨額な費用を要するものと思われる。将来にわたって持続可能な下水道を構築するためにも、管渠の更新は町内全域ではなくて中心市街地だけとし、散居地域では合併浄化槽に切り替えて事業費を抑えることを検討してはどうか。	①～③町長 ④⑤水道課長
2	佐藤 一仁 (自民清流会)	(1) 国道8号の拡幅工事の見通しと、入善ショッピングセンターコスモ21および桃李小学校、とうり保育所周辺の道路整備について ① 現在行われている国道8号の拡幅工事は、今年度予算分の工事で棚山上野間が完了する予定とのことだが、見通しを伺う。 ② 町長が以前から国土交通省に要望されていた、警察署から棚山交差点までの拡幅について見通しはたっているか。	①～④町長

発言順	質問議員 (会派名)	質問事項	答弁者
2	佐藤 一仁 (自民清流会)	③ 拡幅工事完了後、ショッピングセンターコスモ21や桃李小学校、とうり保育所周辺での交通環境の変化が心配される。町道梶山西堂前線と梶山信号から北へ進むショッピングセンター内の私道を直結し、町道として整備していく考えはないか。 ④ 県道小杉梶山新線の国道8号から桃李小学校区間での消雪装置設置の要望が県に提出されている。今後の計画の見通しを伺う。	
		(2) 横山地区交流防災センター(なぎさ館)やサン・ビレッジの施設管理について ① 横山地区交流防災センターやサン・ビレッジの施設の管理要望がなかなか捗らない。テニスコート周辺の植栽や、横山地区交流防災センターとサン・ビレッジ間の通路の冬期風よけ設置は、町の管理が必要だ。今後どのように管理していくのか伺う。 ② 各地区公民館の要望は把握されているのか。次年度予算に反映してもらうにはどうすればよいのか。	①②教育委員会事務局長
3	松田 俊弘 (日本共産党)	(1) コメ不足について ① 昨年から続く消費者米価の高騰は、米の生産が需要に追い付いていないからなのは明らかだ。それには行き過ぎた減反政策も大きな要因と考えるがどうか。 ② これまで政府が説明してきたように、今回のコメ不足が流通の問題だとすれば、備蓄米の放出で米はダブつくことになり、生産者米価はまた暴落することにならないか。 ③ 政府内部では今後米を増産していく議論がされているが、それには農家の所得補償が欠かせないと思うがどうか。	①～③町長
		(2) 物価高騰対策について 総務省が発表した4月の生鮮食品を除く消費者物価指数は、前年同月比で3.5%増と相変わらず高い上昇率だ。住民は生活を守るのに四苦八苦している。 ① 町独自でもひとり親世帯や高齢者世帯への経済的支援を継続して行うべきだ。 ② また、中小・小規模事業者も物価高騰のあおりを受けており支援が必要と思うがどうか。 ③ 子育て世帯の負担軽減に学校給食の無償化を真剣に検討すべきと思うがどうか。	①保険福祉課長 ②キラキラ商工観光課長 ③教育委員会事務局長
		(3) 災害対策について ① 町の防災計画の見直しはどこまで進んでいるか。主な改正点は何か。改正内容を自主防災組織をはじめ住民に公表すべきではないか。	①～④町長

発言順	質問議員 (会派名)	質問事項	答弁者
3	松田 俊弘 (日本共産党)	② 県は魚津断層帯及び陸と沿岸の活断層の連動による被害想定調査を行うとしているが、今後どのようにして町の防災計画に反映させるのか。 ③ 3月に長野県では、民間と行政をつなぐ中間組織が中心となって、災害関連死を減らすためのイタリア式の避難所運営の訓練を行った。富山県もこれを参考に中間組織を立ち上げる準備をしているとのことだ。そのためには全県的な取り組みが必要であり、町も積極的に対応すべきだ。 ④ 段ボールパーテーションや食料などの避難所運営のための町の備蓄品は不十分だ。町民の安心・安全のためにも、また、被災地への支援のためにも計画的に充実していくべきだ。	

■ 一般質問

発言順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
4	井田 義孝 (分割方式)	(1) 放課後児童クラブ(学童保育)の充実を目指して 全国的に午後6時を超えても児童を受け入れている学童保育が8割を超えているとの事だが、入善町の学童保育は6時までだ。保護者の利益を考えれば保育所のように、午前7時から午後7時まで開所できるのが理想的だ。 ① 長時間開所する学童保育への支援制度はどのようなものがあるか。それらの支援で6時半を超える開所は可能か。 ② 夏場の冷房の使用は各学童の現場任せであってはならない。児童を熱中症にさせないように、使用マニュアルに基づく適正な管理が必要だと考えるがどうか。 (2) 介護の改善について ① 介護保険を利用した住宅改修は、見積もりをした時点で申請し、実際の工事が終了後にいったん全額を業者に支払ってから介護保険分が給付される償還払いである。これを、自己負担分1割のみ業者に支払い、残り9割は保険者(介護保険組合)が業者に直接支払う受領委任払い制度に出来ないか。 ② 安すぎる介護報酬や異次元の物価高で町内の介護事業所は経営の危機となっている。町独自の支援を検討するとの事だったが、介護事業者への緊急支援はどうなったのか。	①②結婚・子育て応援課長 ①②保険福祉課長

発言順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
4	井田 義孝 (分割方式)	(3) 住民が共同利用している通路や水路などの「法定外公共物」の管理について 従来から慣習的に住民が共同利用してきた、誰の所有物でもなかった通路（赤線）や水路（青線）を「法定外公共物」といい、平成17年より国から市町村へ所有権が移行されている。 ① 町内における「法定外公共物」の現状はどのように把握しているか。 ② 実際の管理は、利用している住民に任されているが、高齢化などにより利用者は管理運営に苦慮している。維持管理の現状把握と、実態に応じた支援を検討する必要があると思うがどうか。	①②財政課長
5	鍵田 昭 (一括方式)	(1) 町の活性化対策について ① スーパーを開設することにより、町西部地域の買い物弱者を支援し、町の活性化を。 ② 今後旧役場敷地をどうするのか、また、公共施設を取り壊した後の町有地の売却を早急に実施すべきだ。 ③ 同一敷地内で公共マスを増設する場合の費用は、全て町の負担で行うべきだ。 (2) 防災対策について ① 津波避難場所確保の観点からも、平曽川国道線を延伸し、あいの風とやま鉄道を高架で渡せないものか。 ② 用水路の転落防止柵設置を強化すべきだ。 (3) 通学路の整備について ① 県道小摺戸芦崎線に接続している町道の整備も考えては。 ② 県道小摺戸芦崎線と国道8号との交差点での地下歩道の早期着工を。 ③ 県道小摺戸芦崎線の国道8号から旧国道8号までの間の歩道設置の早期着工を望む。 ④ 東狐五郎八線の歩道設置の延伸は出来ないものか。	①キラキラ商工観光課長 ②副町長 ③水道課長 ①②建設課長 ①～④建設課長

〔質問日 6月12日（木）〕

■一般質問

発言順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
6	五十里 国明 (分割方式)	(1) 海洋深層水取水施設取水棟建設工事の随意契約について ① 本員の随意契約の理解度が正しいかどうか、当局の答弁を願いたい。 ② 推進工事、取水管制作、取水管敷設の随意契約は、町長自らが決定された随意契約か。 ③ 取水ピット SP-4 型 L=23M の鋼矢板打込工事は本町土木建設業者に発注すべきだったと思うが、どうか。 ④ 取水ピット工事と取水棟建設工事は分離発注しても障害が無いので、地元業者に発注すべきと思うが、どうか。 ⑤ 随意契約は、工事の実績のある業者と随意契約をいたしましたとの説明だが、町は本町の業者の能力が低いとの判断があったので、清水建設㈱と随意契約をされたらと町内業者間で受け取られているが、それに対するの答弁を願いたい。 ⑥ 本町の業者も下請業者として作業に加わっているが町は知っているか。 ⑦ 清水建設に本町には建設協会があり、工事内容で本町業者に協力できることがあれば使ってくれとの発言をされたことがあったか。 ⑧ これまで、取水棟建設 560,000 千円、推進工事 450,000 千円、取水管制作 1,030,000 千円、取水管敷設 750,000 千円、計 2,790,000 千円の多額の随意契約をされた。この監理はもちろん当局がすると思うが、この監理者として本町から常駐させる職員はいるのか。また、製品確認等の経費は、清水建設㈱とどのような話し合いになっているのか答弁願いたい。 ⑨ 深層水関連工事の進捗状況はどうか。 ⑩ 随意契約された結果後であるから、契約物件の資料提供を後日請求したいが、どうか。 (2) 農振除外について ① 農振除外は性善説を基に協議されていると思うが、当局の考えは。 ② 農振除外用途の変更が必要になった時、どのようにすべきか。 ③ 農振除外申請者が除外地を大きく変更した場合の指導または確認はどうなるのか。 ④ 過去に農振除外後に転用しなかった物件があるか。 ⑤ 農振除外地を転用後、構造物を構築した際、検査もしくは立ち合いをしているのか。	①②⑤⑥⑦副町長 ③④⑧⑨キラキラ商工観光課長 ⑩財政課長 ①～⑤がんばる農政課長

発言順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
7	中瀬 淳哉 (一括方式)	(1) 地域コミュニティと地域スポーツについて ① これからの地域コミュニティのあり方に町が積極的に関わる考えはあるか。 ② 地域のささえあい推進事業やコミュニティパートナーシップ推進事業、そして電子回覧板事業等、地域コミュニティのために町が行っている施策の現状はどうか。 ③ コミュニティパートナーシップ協議会の事務局を会計年度任用職員とし、地区の運営に行政として協力してはどうか。 ④ 地域スポーツの意義、必要性について町の考えは。 ⑤ 町民体育大会について、町の考えは。 ⑥ スポーツ推進委員の報酬を上げ、人数上限も広げるべきだと考えるがどうか。 ⑦ 今年度から部活動の土日の地域移行がなされたが現状問題はないか。また、地域移行されていない部活動について、議論は進んでいるのか。 ⑧ スポーツ少年団や部活動の地域移行に地元企業を巻き込んでいくことを、町としても積極的に呼びかけていくべきではないか。	①～③総務課長 ④～⑧教育委員会事務局長
		(2) 個人スポーツと健康寿命の延伸について ① 個人スポーツと健康寿命の延伸を結び付け、「歩く」ことや「筋トレ」を中心としたまちづくりを進めてはどうか。 ② 体育館のトレーニングルームを拡張し、トレーニング機器を充実させてはどうか。 ③ ランニングマシン等のトレーニング機器を各地区体育館や公民館に導入してはどうか。 ④ 当町で行っている健康ポイント事業に若者世代にも参加してもらうために、歩数計アプリを使用し、活動した分だけジャンボ〜ル商品券に交換できるようにしてはどうか。 ⑤ ウォーキングしやすい場所を増やすべきであり、水の小径を改修すべきだ。 ⑥ 中央公園の外周を夜間でも使えるウォーキングゾーンにしてはどうか。	①②③⑥教育委員会事務局長 ④元気わくわく健康課長 ⑤住まい・まちづくり課長